

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 28 日

評価対象事業	都整 - 14					道路新設改良事業				☐ 法定受託事務	
所管課	都市整備部 道路河川整備課					評価者		道路河川整備課長 小川 拓也			
一般	会計	款	45	項	10	目	15				
総合計画上の位置付け	分野名		道路整備			施策の方針名		道路・橋りょうの整備・維持管理			

1 事業の目的

対象	市民等	意図	道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。
効果	交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☒ 単年度事業
 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度）
 ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	道路舗装の計画的修繕	道路舗装の計画的修繕	道路舗装の計画的修繕
予算額（千円）	195,426	91,388	
国県支出金	51,400	8,500	
地方債	129,200	74,500	
その他			
一般財源	14,826	8,388	0
当初人員配置数	1.0	1.3	0.0
人件費（千円）	8,537	11,474	0
事業実績	道路舗装の計画的修繕	道路舗装の計画的修繕	道路舗装の計画的修繕
決算額（千円）	216,427		
国県支出金	25,441		
地方債	151,200		
その他			
一般財源	39,786	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標			単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	
	(上段実績、下段経費（千円）)									
活1	指標名	道路舗装修繕計画に基づく修繕実施延長			km	0.3	⇒	1.08		
	実績につながる活動	道路舗装修繕計画に基づき、劣化した道路舗装等について、計画的な舗装修繕を行った。						-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・道路舗装修繕計画に基づき予定通り修繕を実施することができた。これにより道路の安全性の維持に寄与した。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No （最大3つ）
成1	道路舗装修繕計画に基づく修繕実施率	%	15	↗	39			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・ 成果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・ 成果指標No. 成1について、修繕実施率が15%から39%に増加した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・ 道路舗装修繕計画に基づく修繕実施（活動結果指標）により、道路舗装修繕計画に基づく修繕実施率（成果指標）が増加しており、これは本事業を行った成果である。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
		事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	効 率 性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
		公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定
方向性		評価実施年度の方角性	⇒ 評価実施翌年度以降の方角性		
	事業内容の方角性	☐ 事業内容は現状通り ☒ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒ ☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合	
	予算規模の方角性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒ ☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する		
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	今後も事業を継続し、着実に工事を発注することで、適切な道路施設の維持管理を行い、豊かな暮らしや安全で安心できる環境の創出を図っていく。			

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	個別計画に基づき実施している事業であり、他市比較による評価は困難であり、他市比較は適切でないとする。
----------------------	--